



2005.3.31

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[県連政策調査会、積極的に勉強会を開催](#) / [県内の総支部、各地で総会を開催](#) / [民主党自治体議員フォーラム愛知 愛知県平成17年度予算説明会を開催](#) / [ジャパン・リーダーズ・カレッジ第1期修了](#) / [緑区市議補選の候補者、岡本康宏氏に決定!](#) / [幹事会報告\(3月12日抜粋\)](#) / [編集後記](#)

県連政策調査会、積極的に勉強会を開催

臓器移植法改正に関する勉強会

3月12日、民主党愛知県連・政策調査会は、社会保険中京病院において、臓器移植法改正についての勉強会を行った。

今回の勉強会は、中京病院の副院長である絹川常郎氏と鈴木克昌衆議院議員の知遇により実現したもの。当日は前田雄吉・県連政調会長、富田昭雄・同副会長はじめ、河村たかし、近藤昭一、牧義夫の3代議員が参加した一方、社団法人 日本臓器移植ネットワーク中日本支部の医療関係者、実際に移植を受けられた方も加わって、臓器移植法改正についての現場の声を聞く貴重な機会となった。

平成9年に成立した臓器移植法では、臓器提供は本人の承諾(書面による)を前提としているが、実際にその裏づけとなるドナーカードを本人が携帯している割合は極めて小さい。つまり、「脳死になったら臓器を提供してもよいと考えている人」35.4%の国民の善意は活かされないまま、というのが現状である。そこで、臓器提供の意思を健康保険証や運転免許証等に表示することで本人の意思を確実に反映するとともに、15歳未満の規定を廃止し、また家族の承認をもって臓器移植を可能にし、一人でも多くの命を助けたい、移植を待つ人たちを救いたい、というのが関係者の願いとして示された。ことはひとのいのちに関わる問題であり、一刻も早い対応を願う関係者から、民主党は積極的役割を果たすよう期待されている。そのことを、参加者がしっかりと受け止める勉強会となった。



自らの体験を交えつつ勉強会の趣旨を語る
前田雄吉 県連政調会長

日進市東部丘陵の開発に関する勉強会

民主党愛知県連・政策調査会は、日進市東部丘陵地区において進められている粘土採取等の開発計画について、勉強会を行った。

日進市民や名古屋市近郊住民を中心とした多くの諸団体が、東部丘陵地帯の緑豊かな自然環境を保全するべく様々な活動を展開している一方、業者側は「愛・地球博」閉幕後直ちに掘削事業を開始するための手続きを県に対して進めてきており、林野庁による保安林解除の判断を待つのみ、というところまできている。

3月14日の勉強会当日には関係地域の国、県、市議員他14名が参加、特に「日進市東部丘陵資源採取に伴う政策判断について」として要望申し入れを県連に行った県議4名を代表して地元選出の波形昌洋氏から現況に関する説明を受けた後、今後の対応について協議した。

かつての天白川氾濫等の事象を鑑みるまでもなく、東部丘陵の環境保全は極めて重要かつ焦眉の課題である。県土保全に大きな責任を負う地方自治体が自主的な権能を行使できないという、鉱業権の許認可に関する現行法制下の不備を踏まえつつも、地域住民にとって最善の結論が示せるように、県連として引き続き努力していくことが重要であり、その方向性が確認された。



[top](#)

県内の総支部、各地で総会を開催

愛知2区 支部総会を開催、6/11フォーラム等を決定

2月26日、愛知2区総支部総会が総支部事務所（古川元久事務所）にて開催された。

冒頭、古川元久 総支部代表より、今年の活動、とりわけ参議院選挙についてのご理解とご協力に対してお礼の挨拶があった。

その後、富田昭雄 幹事長より昨年度の活動報告と2005年度の活動方針・計画（千種区、守山区、名東区の各区においてフォーラムを開催：まず千種区において6月11日に「地震」をテーマに開催決定）について説明があり、それぞれ討議、承認された。

また、古川代表による政権交代に向けた強い決意表明を受け、参加者より党員の増強と支持者拡大の要請があり、一致団結して取り組むことが満場一致で承認されるなど、実り多い総会となった。



愛知10区総支部大会、新・総支部長として杉本氏が挨拶

同じく2月26日(土)、愛知10区総支部として初めてとなる大会が一宮市スポーツ文化センターで開かれた。

当日は、一宮市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町、木曾川町の3市3町の党員が集結した。

冒頭、一宮市選出の県会議員、高橋正子・旧支部代表代行から新支部長へ就任した杉本和巳氏が紹介され、同氏は、「政権交代に向けて、小選挙区勝利が全国公募と愛知県公募で選んでいただいた者の使命」とその決意表明を行った。また、大会後に新支部長を囲んで懇親座談会も開かれ、杉本氏の政治姿勢としての「為政清明」の話から趣味のカラオケの曲目「高校三年生」に至るまでの話が和気藹々の雰囲気の中で行われ、小さいながらも結束力のある組織の一面も覗かれた。



愛知11区総支部 第4回定期総会を開催

愛知11区総支部(総支部長:古本伸一郎 衆議院議員)は、2月19日、カバハウスにおいて4回目となる定期総会を開催、党員・役員150名が参加し、2004年度の活動報告と2005年度の活動方針が示され、承認された。

来賓として出席された鈴木公平 豊田市長は、4月1日に藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町との合併によりスタートする新・豊田市の課題について「都市と農村の共生が重要であり、今後の地方自治体の在り方として自立がキーワードになる」と述べつつ将来の道州制にまで言及した。

また総会後には、豊田市と合併する4町村長による「我が町村の魅力と今後の課題」と題したレートークが行われ、それぞれの思いが語られた。



[▲
top](#)

民主党自治体議員フォーラム愛知

愛知県平成17年度予算説明会を開催

民主党自治体議員フォーラム愛知は3月5日、名鉄



グランドホテルにおいて愛知県予算案説明会を開催した。

空港、万博の「二大事業の成功」から「愛知新時代」へと謳われる平成17年度の愛知県当初予算案は、規模2兆1478億円、対前年度比96.6%。3年ぶりに1兆円を超える歳入規模で編成され、「県民の安心・安全の確保」「環境先進県あいち」「新たな産業の創造」「協働 人づくりそして分権改革」「明日の愛知の創造に向けて」といったテーマに沿って具体的な施策を示したものとなっている。

近藤良三・自治体議員フォーラム愛知代表の挨拶の後、県総務部財政課の担当者から約1時間、予算編成のポイントについての説明を受けたのに続き、参加者との質疑応答となった。

交付税に関連する補助事業、国・県・市町村の按分について、昨年からはまった不妊治療に関する予算措置の継続、県の義務的経費とりわけ人件費(団塊世代の職員の退職金、警察官の増員、少人数学級と先生の増員について)、次世代育成対策行動計画の内容、放課後児童健全育成事業の扱い等、参加者の活発な議論により、厳しい財政状況の中で編成された今回の予算案の政策的な方向性、編成の趣旨が確認された。

例年のことながら、議員の抱く関心事項を担当者に直に訊くことができたという意味でも、本会は大いに有意義なものとなった。

[▲
top](#)

ジャパン・リーダーズ・カレッジ第1期修了

3月26日、1年間続いたジャパン・リーダーズ・カレッジ(JLC)第1期の最後の講義がアイリス愛知において開かれた。

1年間の成果を参加者が相互確認すべく、参加者が8チームに分かれてそれぞれが選んだテーマに沿った発表と質議が熱く展開された後、締めくくりとして大塚耕平理事長(参議院議員)が演壇に立ち「公共政策の形成過程」について講演した。

全国に先駆けて企画されたJLCの意義、1年間の総括と次年度に向けての展望を、大塚理事長に語っていただいた。



最終講義で挨拶に立つ
大塚耕平 JLC理事長

ジャパン・リーダーズ・カレッジ(JLC)第1期閉講にあたって

昨年4月に開講しましたJLC第1期は、1年間のカリキュラムを無事に修了し、去る3月26日に閉講しました。年齢は18歳から60歳代まで幅広く、サラリーマン、公務員、地方議会議員、大学教授、学生、主婦など、実に様々なバックグラウンドの70人の方々にご参画頂きました。それぞれ仕事や学業で多忙な中、熱意をもってJLCに参画して頂いた受講生の皆様に、心から敬意を表したいと思います。

また、各界からお招きしました特別講師の皆様、理事、アドバイザーとしてご協力頂きました愛知県議、名古屋市議の皆様、ならびに関係者の皆様のご協力に、心から御礼を申し上げます。

JLCは、さまざまな分野でリーダーシップを発揮し、地域や国、世界の発展のため、次世代に豊かな未来と自然を引き継ぐために貢献できる人材育成を目指してスタートしました。第2期も引き続きそうした目標を掲げ、7月開講を目指して準備中です。第2期は、北川正恭早稲田大学大学院教授(前三重県知事)に継続的なご指導をお願いする予定です。多くの皆様のご参画を期待しています。

理事長 参議院議員 大塚耕平

[▲
top](#)

緑区市議補選の候補者、岡本康宏氏に決定！

民主党愛知県連は、3月12日付の常任幹事会において、名古屋市議員・緑区補欠選挙の公認候補者として、新人の岡本康宏(おかもと・やすひろ)さん(28)を決定した。岡本氏は98年から近藤昭一 衆議院議員の秘書を務め、現在は公設第一秘書。

2月28日、名古屋市記者クラブの会見では「すべての人が大事にされ、関心が持てる政治を目指して頑張りたい。区役所のサービスなど、身近なところから変えてゆきたい」と抱負を語った。



岡本康宏さんのプロフィール

1976年 11月29日生(28歳)

1995年 大同工業大学大同高等学校卒業

1998年 衆議院議員近藤昭一事務所

(2003年より公設第二秘書、2004年より公設第一秘書)

事務所住所:名古屋市緑区青山3-24 (TEL:052-629-3933)



[top](#)

■ 幹事会報告 (3月12日、抜粋)

■ 選挙対策方針について

名古屋市議員 緑区補欠選挙 候補者について

◇ 公認候補者名 岡本康宏(おかもと・やすひろ)氏 (新、28歳)

◇ 選挙執行予定日 4月24日(告示4月15日)

■ 次期統一地方選挙候補者擁立委員会(仮称)設置について

県連と総支部が連携し候補者擁立を進める

■ 刷新プロジェクトチームについて

県連と総支部・支部の役割、連携等について、昨年度に引き続き協議していくことを確認

■ 東海ブロックおよび自治体議員フォーラムの取り組みについて

第2回東海州議会について(予定)

◇ 日時 5月30日(月)

◇ 会場 ホテルグリーンパーク津

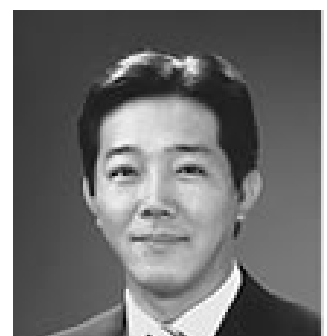
◇ 議題 伊勢湾スーパー中枢港湾、規制改革と東海州活性化、市町村合併と道州制について

編集後記

この号が発刊される頃には、もうサクラが開花しているかもしれませんね。

めっきり春らしくなった今日この頃、2月定例県議会も3月18日に24日の会期を終えて、25日には待ちに待った「愛・地球博」が開幕しました。その大変な人気ぶりはもうご存知かと思います。皆さんはいつ行かれますか？

この万博と、2月に開港したセントレアとの「二大」プロジェクトを契



機に、本県のいっそうの飛躍を願ってやみませんが、そうそう浮かれてばかりもいただけません。

そうです。4月24日には、こちらも「二大」決戦であります選挙が行われます。名古屋市長選挙・松原武久氏と市議員緑区補選・岡本康宏氏、両候補の勝利を目指して皆さん一丸となって応援しましょう！

松原武久さん、岡本康宏さん、くれぐれもお体に気をつけられ、精一杯がんばってください！お二人にサクラ咲け！

広報委員 久野てつお(県議員・南区選出)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail: minshu@dream.ocn.ne.jp


[top](#)